

乗鞍岳山スキー (5/21) 報告

【山城】北アルプス・乗鞍岳

【日程と天気】2016年5月21日(土) 晴れ・無風

【メンバー】CL 菊池 (TM)・薄井 (AT)・会員外 I さん (TM)

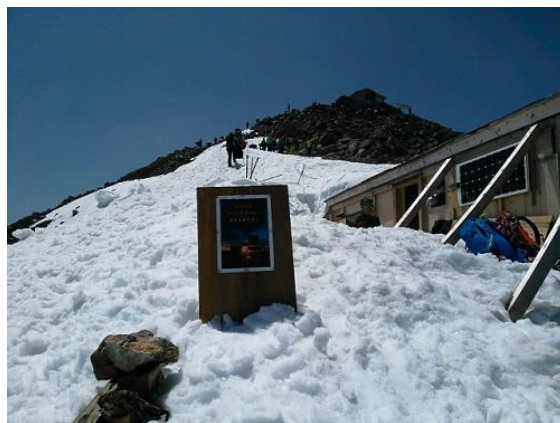
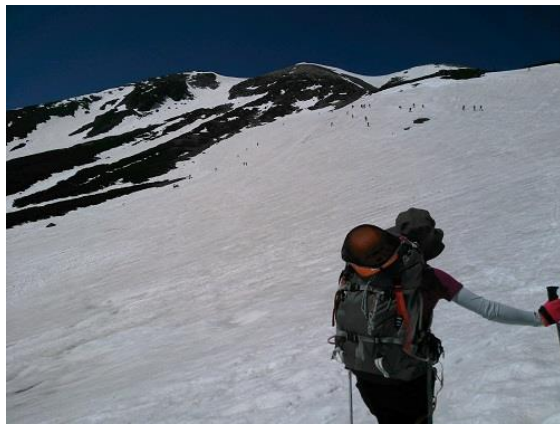
【行程】千葉(わが家) 2:45-U さん PU-穴川 IC-中央道-松本 IC-7:15 三本滝駐車場 7:45-8:25 肩の小屋口駐車場-蚕玉岳稜線-10:50 乗鞍岳山頂-蚕玉岳-滑走-道路-肩小屋口駐車場休憩-肩の小屋-滑走-駐車場-滑走-位ヶ原-バス 15:56-三本滝駐車場-温泉-松本城見学-道の駅「安曇野松川」仮眠



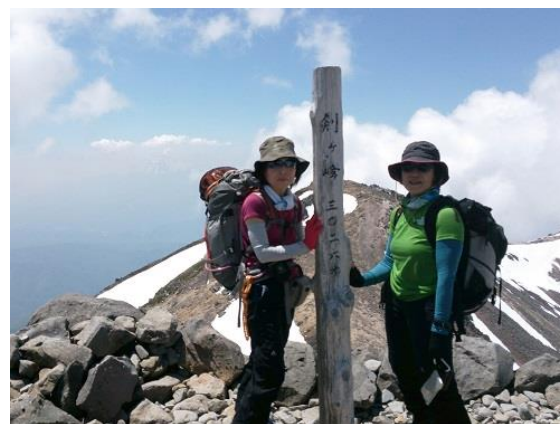
・例年なら富士山・北アルプス(後立山連峰)などの残雪期山スキーの旬の時期であるが、今期は極めて残雪が少なく、滑り納めを終了した方々も多いが、大雪渓 Web Site <http://www.norikura.org/> の情報では、十分楽しめそうなので、例年通り滑り納めのエリアとして乗鞍を選択していた。

・7:15 ころ、観光センターに到着したが、7:30 のバスに乗るには慌ただしい。ガソリン代が掛かるが(バス代はどこで乗ろうが降りようが往復料金は 2500 円)、余裕がある方がよく三本滝駐車場に駐車した。バス 4 台はこの日から肩の小屋口まで乗り入れた。小生は

まず駐車場から道路を 200m ほど戻り、蚕玉岳から道路まで雪渓が繋がっていることを確認し、シール登山を始めた。適度に締まっている雪質で稜線までシールで登りあげることができた。素敵なドリップコーヒーの看板に下山時に立ち寄る気持ちにさせられた。



・既に大勢の方々が山頂付近で休んでおり、剣が峰の撮影スポットでは記念撮影の順番待ちの状態であった。360 度の大大パノラマを楽しんで下山開始、小屋でドリップコーヒー (500 円) とティーシャツ・手拭などを購入、コーヒー代一人分の代金を割り引いていただいた。



・蚕玉岳からの滑走は I さんのみ初体験、35 度位の急斜面であるが、雪質がよく上質なザラメ、板がよく走りスピードコントロールが鍵である。上半身が遅れるとバランスが崩れ、

小生も転倒してしまった。後で気が付いたら他方のブーツが歩行モードのまま、ハイスピードに一瞬、上半身が遅れバランスを崩したようだ。Uさんと私が代わる代わる撮影役となり、急斜面滑走を撮影しながら下った。

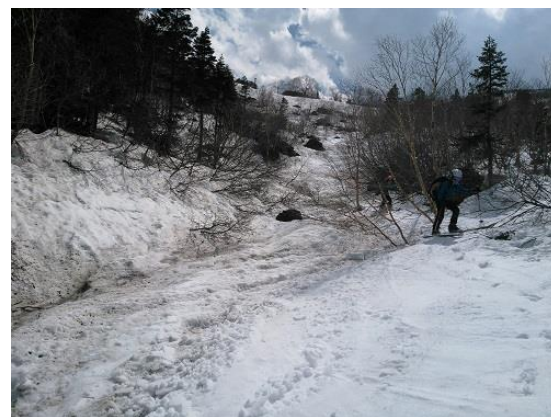


斜度が緩み下方に行くに従い凹凸が目立つようになったが、柔らかい雪質にしっかり板を踏みつけながらゆっくりテレターンを刻めた。標高差 370m の 1 本目の滑走を終了し、駐車場で初夏の心地よい日差しを浴びて大休憩した。

・時間が十分あるため肩の小屋まで登り上げ、標高差 160m の 2 本目滑走を行い、位ヶ原山荘に向け屋根坂を下った。下部に行くほど縦溝で滑りにくくなり、最終段階で藪が煩く、



沢が割れていたが、何とか道路まで滑走可能であったが、あと数日で滑走不能となりそうであった。



位ヶ原山荘で 3:55 の最終バスまでかなり時間の余裕があったため、小生は生ビールを美味しくいただくことを許された。乗鞍高原観光センター前の湯けむり館で汗を流し、道路を少し進み橋を渡りすぐ右に、無料の半露天風呂があることを確認して松本に向かった。途中、稲核ダム横の道路右側にあるソバ屋で夕食（馬刺しが旨かった）、ライトアップさ

れた素晴らしい松本城を見学して、道の駅「安曇野松川」でテント泊した。

